

令和4年度 海上の森保全活用事業の取組について

あいち海上の森条例(平成18年4月1日施行)に基づき、海上の森を愛知万博の理念や成果を継承する愛知万博記念の森と位置付け、将来にわたり保全活用するとともに、県民参加のもとに森林や里山に関する学習と交流の拠点として、里山保全活動、森林環境教育を始め、情報発信や人材育成などの取り組みを行いました。

■主な取組

1 愛知万博記念の森としての保全のための事業

事業項目		取組状況
里山保全事業	耕地管理	体験学習プログラム「里と森の教室」で使用する農地の維持管理委託
森林の維持管理事業	林道の維持管理	台風や豪雨等で損傷した林道、作業道、歩道等の整備補修
	危険木伐採	枯損木、倒木等の危険木の除去 
	巡視	散策者の安全確保等のための落枝除去・歩道等の点検と巡視 台風や豪雨等の被害木の除去 
事業用地維持費		業者による草刈等の実施
自然環境調査事業	湿地調査	海上の森にある湿地の調査及び湿地解説パネルの作成を委託
	猛禽類調査	海上の森の猛禽類の活動状況を把握し、その結果を海上の森の保全活用に役立てるため、猛禽類の飛翔状況などを調査
	稀少動物の生息状況調査	ムササビが生育する里山環境を維持保全するための基礎資料となる生息状況を調査
	ほ乳類の生息状況調査	里山環境を維持保全するための基礎資料となる、シカ、イノシシ、キツネ、タヌキ等の生息状況を調査
	調査報告書	調査結果を海上の森調査報告第12号としてとりまとめ

2 森林や里山に関する学習と交流のための事業

(1) 体験学習・多様な主体との連携

事業項目		取組状況
体験学習プログラム	里と森の教室	里の農作業、里山文化の体験を通じて里山の魅力を知る 5/22～12/4の9日間で延べ253名参加
	グリーンウッドワーク	里山の木でつくる暮らしの道具 箸づくり、スプーンづくり、器づくり、スツールづくり等 前期:4/16～8/20で9日間 後期:9/17～1/28で9日間  ＜スツールづくり＞

事業項目		取組状況
体験学習プログラム	キッズアカデミー	森の楽しさやおもしろさを親子で体験・共有して学ぶ(12/4の1日間) ＜森のがっこう・小学生5組13名＞ ＜森のようちえん・園児14組37名＞ 
多様な主体との連携	企業等との連携	＜今年度の活動団体＞ ワタミ・SEF、カルビー、TBエンジニアリング、ヤマとナデシコ、よりあい工房ぱんどり ＜企業、愛知県環境局、センターの三者協定による活動団体＞ 大和リース
	団体間の交流	パネル展示「NPO・グループ活動広場」の開催
	大学・学校等との連携	＜講義及び実習＞ 名古屋大学1年生38名(9/21)及び3年生23名(10/21) 瀬戸西高等学校(出前講座10/13)、幡山中学校1年生9名(10/25) ＜調査＞ 海上の森モニタリングサイト1000調査、名古屋大学、名古屋工業大学、愛知学院大学、あいちコウモリ調査隊など

(2) 人材の育成

事業項目		取組状況
海上の森アカデミー	講座実施期間参加者数	森の自然教育コース(7/10～8/7の4日間)参加9名・応募22名 森女養成コース(9/17～11/6の6日間)参加9名・応募21名 里山暮らしコース(11/19～12/18の5日間)参加11名・応募22名 森の自然教育コース修了生対象アドバンスクラス(2/25～3/4の2日間)参加8名・応募8名 ＜森の自然教育コース＞(ロープワーク) ＜森女養成コース＞(チェーンソーの使い方) 
		＜里山暮らしコース＞(山仕事 事始め) ＜アドバンスクラス＞(たき火) 